

株式会社 京滋建設

環境経営レポート

2023年

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



業



令和6年（2024年）6月10日

代表取締役社長 浦谷 篤志

1 取組組織・活動の概要

事業者名及び代表者名

株式会社 京滋建設
代表取締役 浦谷 篤志

所在地

事務所 〒520-2413 滋賀県野洲市吉地 1335-1
倉庫、資材置場 〒520-2421 滋賀県野洲市野田 562-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 総務：浦谷洋子
連絡先：077-589-3547
連絡担当者 総務：浦谷照美
連絡先：077-589-3547
E-mail:keiji-co@maia.eonet.ne.jp

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業・舗装工事業・水道施設工事業・とび・土工工事業、しゅんせつ工事
建築工事業・大工工事業・造園工事業

事業の規模

売上高 706 百万円/年 （2023年度）
工事件数 130 件/年
全従業員 15 名
* 当社の事業年度は12月1日から翌年11月30日です

事業組織

面積：m ²	事務所	資材倉庫
事務所床面積	351.1	-
倉庫床面積	-	730
資機材置場面積	-	2,414
従業員 名	15	-

過去3年間の環境負荷の実績

		2021年	2022年	2023年
	単位	令和4年	令和5年	令和6年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	377,767	318,485	276,278
二酸化炭素排出量原単位	CO ₂ /百万円	471	668	391
廃棄物の排出量	t	148	737	317
水の使用量、排水量	m ³	57	60	58

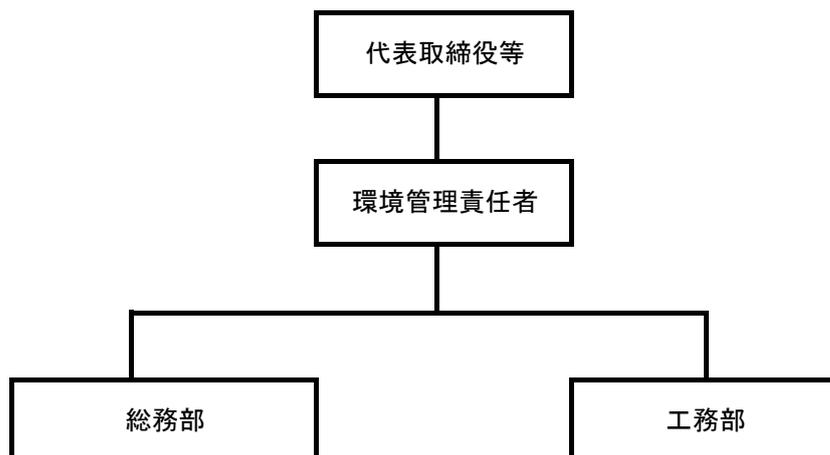
* 当社の環境取組年度は4月1日から翌年3月31日です

* 購入電力の調整後排出係数は、関西電力の2020年度の0.351kg-CO₂/kWhを使用しています。

* 化学物質の取扱はありません

2 環境経営組織図及び役割、責任及び権限表

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示する。
	⑥環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 京滋建設

環境経営方針

環境理念

”顧客の信頼を得るとともに、社会の発展に貢献する”という企業理念に基づき、地球環境に密接に関わっている事を認識するとともに、思いやりをもって企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。

行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした土木建設工事業を行っています。この建設事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、地球環境の保全を推進するため、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所及び資材倉庫及び現場の電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 廃棄物の削減、省資源、省エネルギーに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境活動として美知メセナ制度に参加し、社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2011年12月1日

改訂日：2019年04月1日

代表取締役社長 浦谷 篤志

3 環境経営目標とその実績

当社は、2007年9月よりエコアクション21に取り組んでいます。2021年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年4月1日から2024年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	次年度 中長期				
			2021年	2023年4月～2024年3月		2024年	2025年
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所及び資材倉庫及び現場の電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh) 全社	目標・基準年比達成率	100%	98%	115%	97%	96%
		使用量	17,689	17,335	20,367	17,158	16,981
		(kg-CO ₂)	6,209	6,085	7,149	6,023	5,960
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 事務所	目標・基準年比達成率	100%	98%	95%	97%	96%
		使用量	11,016	10,796	10,497	10,686	10,575
		(kg-CO ₂)	3,867	3,789	3,684	3,751	3,712
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 資材倉庫	目標・基準年比達成率	100%	98%	80%	97%	96%
		使用量	3,915	3,837	3,147	3,798	3,758
		(kg-CO ₂)	1,374	1,347	1,105	1,333	1,319
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 建設現場	目標・基準年比達成率	100%	98%	244%	97%	96%
		使用量	2,758	2,703	6,723	2,675	2,648
		(kg-CO ₂)	1,153	1,130	2,360	1,118	1,107
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率	100%	98%	98%	97%	96%
		使用量	11,876	11,638	11,682	11,520	11,401
		(kg-CO ₂)	27,552	27,001	27,102	26,726	26,450
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比達成率	100%	98%	85%	97%	96%
		使用量	110,358	108,151	93,809	107,047	105,944
		(kg-CO ₂)	284,724	279,029	242,027	276,182	273,335
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率	100%	98%	87%	98%	97%	
	(kg-CO ₂)	318,485	312,115	276,278	308,930	305,745	
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減	目標・基準年比達成率	-	98%	83%	97%	96%	
	CO ₂ /百万円	471	462	391	457	452	
廃棄物の削減、省資源、省エネルギーに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	-	105%	-	-
		(リサイクル率%)	100%	95%	100%	95%	95%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水を努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	目標・基準年比達成率	-	98%	97%	97%	96%
		(使用量m ³)	60	58.8	58	58.2	57.6
	オイル吸着材の設置と監視など適正管理 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
(監視率%)	100%	100%	100%	100%	100%		
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
		(使用率%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動として美知メセナ制度に参加し、社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回/年)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	-	-
		(回数/年)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 1 電力の排出係数は、何れも関西電力2020年度調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用。
- 2 二酸化炭素排出量削減では、節電、エコドライブ、アイドリングストップ、重機の効率的な稼働に取り組めます
- 3 廃棄物排出量は、総排出量で把握し、建設リサイクル率に取り組めます
- 4 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について実施する。また建設現場からの汚水・濁水防止監視を実施します
- 5 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車等の環境配慮車両を使用します
- 6 社会貢献活動は美知メセナ活動に参加し実施します
- 7 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容（目標達成手段）	責任部門・担当者
事務所及び資材倉庫及び現場の電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh) 全社	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）	総務部
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 事務所		総務部
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 資材倉庫		工務部
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 建設現場		工務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)		① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ エコドライブの励行 ④ 建設重機の環境に配慮した稼働
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場		
廃棄物の削減、省資源、省エネルギーに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工務部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	総務部
	オイル吸着材の設置と監視など適正管理 (単位：%) 建設現場	① 濁水防止の適正監視する	工務部
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	① 低騒音・低振動型重機の使用 ② 排ガス規制適合車の使用 ③ 環境配慮施工の維持	工務部
環境活動として美知メセナ制度に参加し、社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回/年)	① 地域の清掃活動に参加する。	工務部

取組の紹介

- 1 美知メセナ活動とは滋賀県と協定を締結して、地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- 2 滋賀県や野州市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

評価は、○は目標を達成、△は基準年度105%以内を達成 ×は目標を未達成

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2023年4月～2024年3月			取組の総合評価	担当責任者
			(目標)	(実績)	評価		
事務所及び資材倉庫及び現場の電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh) 全社	目標・基準年比 達成率	98%	115%	×		総務部
		使用量	17,335	20,367			
		(kg-CO ₂)	6,085	7,149			
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 事務所	目標・基準年比 達成率	98%	95%	○	不要時の消灯、エアコン温度管理に徹底した	総務部
		使用量	10,796	10,497			
		(kg-CO ₂)	3,789	3,684			
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 資材倉庫	目標・基準年比 達成率	98%	80%	○	不要時の消灯、エアコン温度管理に徹底した	工務部
		使用量	3,837	3,147			
		(kg-CO ₂)	1,347	1,105			
	電力使用量の削減 (単位：kWh) 建設現場	目標・基準年比 達成率	98%	244%	×	建設現場の現場事務所の設置があり、使用量が増えた。不要時の消灯、エアコン温度管理は徹底した	工務部
		使用量	2,703	6,723			
		(kg-CO ₂)	1,130	2,360			
ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比 達成率	98%	98%	○			
	使用量	11,638	11,682				
	(kg-CO ₂)	27,001	27,102				
軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比 達成率	98%	85%	○	二酸化炭素(燃料)の削減は工事受注件数や現場の所在地により変動するので厳しい状況である。重機の無駄な稼働は避け低騒音型重機・排ガス対策型機械の使用でエコに繋がった	工務部	
	使用量	108,151	93,809				
	(kg-CO ₂)	279,029	242,027				
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年比 達成率	98%	87%	○		
		(kg-CO ₂)	312,115	276,278			
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減		目標・基準年比 達成率	98%	83%	○		
		CO ₂ /百万円	462	391			
廃棄物の削減、省資源、省エネルギーに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率	-	105%	○	建設現場の廃棄物は分別をして、リサイクルに努めた	工務部
		(リサイクル率)	95%	100.00%			
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：m) 建設現場	目標・基準年比 達成率	98%	97%	○	節水に心掛けているが、人員が増えたため使用量が少し増えた	総務部
		(使用量m)	58.8				
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率	-	100%	○	汚濁防止の監視を100%行った	工務部
		(監視率)	100%	100%			
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比 達成率	-	100%	○	100%低騒音・低振動型重機を使用した	工務部
		(使用率%)	100%	100%			
環境活動として美知メセナ制度に参加し、社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回/年)	目標・取組年比 達成率	-	100%	○	地域清掃活動に積極的に参加した	工務部
		(回数/年)	12	12			

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めた
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努めた。また建設現場では濁水防止監視を実施した
- 4 環境配慮施工で低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用した
- 5 環境美化活動は計画通り美化活動に参加した

次年度の主な環境経営計画の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクルに努める
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努める。また建設現場では濁水防止監視を実施する
- 4 環境配慮施工で低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用する
- 5 環境美化活動は計画通り美知メセナ活動に参加する
- 6 環境経営目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取組み、意識を持って全員で実践する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化等の管理	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検、引渡し、点検記録の保存、解体時の第1種特定製品の有無の事前確認、発注者に書面（事前確認書）を交付	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

取り組み内容では、現場でのアイソリンクストップや重機の無駄な稼働はしないように努め、また、低騒音型重機・排ガス対策型機械の使用でエコに繋がった。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制他

変更なし
 変更なし
 変更なし

変更あり
 変更あり
 変更あり